

2010年度
(2010年4月～2011年3月)
決算の概況

2011年4月28日



目次

2010年度決算のポイント	2
連結損益計算書	3
連結売上高と利益推移	4
連結貸借対照表	5
連結キャッシュフロー	6
連結セグメント別業績	7
連結セグメント別業績推移	8
(ご参考)長期経営ビジョン	9

2010年度決算のポイント

- ▶ 自動車・半導体・家電および神戸製鋼グループなどの主要需要家向けの販売が回復し、また粗鋼生産の増加、輸入鉄鋼原料や鋼材価格の上昇などにより連結売上高・経常利益・純利益は前年同期比大幅に増加
 - ・売上高8,629億円(前年同期比 +1,735億円、25.2%増)
 - ・経常利益63億円 (// +20億円、47.6%増)
 - ・当期純利益33億円(// +4億円、15.1%増)
- ▶ 自己資本比率は10.6%(前年度末実績 10.9%)
- ▶ 年間配当 5円/株予定(09年度実績 4円/株)

連結損益計算書

(単位:億円)

	09年度	10年度	増減額	増減率
売上高 (9/17 修正発表値)	6,894	8,629 (9,100)	① 1,735	25.2 %
売上総利益	192	219	27	
販売管理費	△135	△142	② △8	
営業利益 (9/17 修正発表値)	57	77 (74)	19	33.5 %
営業外損益	△15	△13	1	
経常利益 (9/17 修正発表値)	43	63 (58)	20	47.6 %
特別損益	△7	△8	③ △1	
法人税等	④ △7	△22	△15	
当期純利益 (9/17 修正発表値)	29	33 (30)	4	15.1 %
1株当たり当期純利益	32.85 円	37.81 円		
1株当たり配当金	4.0 円	5.0 円		

①売上高

単体 +1,606

- ・鉄鋼 +272
- ・鉄鋼原料 +997
- ・非鉄金属 +446
- ・機械・情報 △116
- ・溶材 + 28

海外子会社 +144

(アジア+73、中国+41、アメリカ+25)

国内子会社 + 22

連結調整 △ 37

計 +1,735

②販売管理費

人件費、旅費、運賃の増加

③特別損益

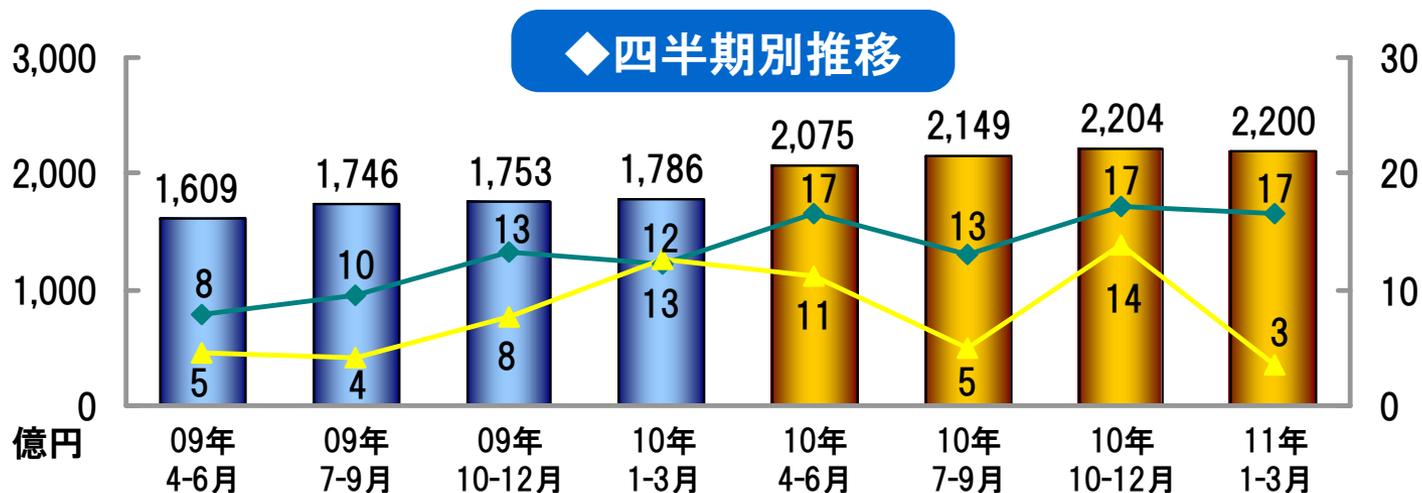
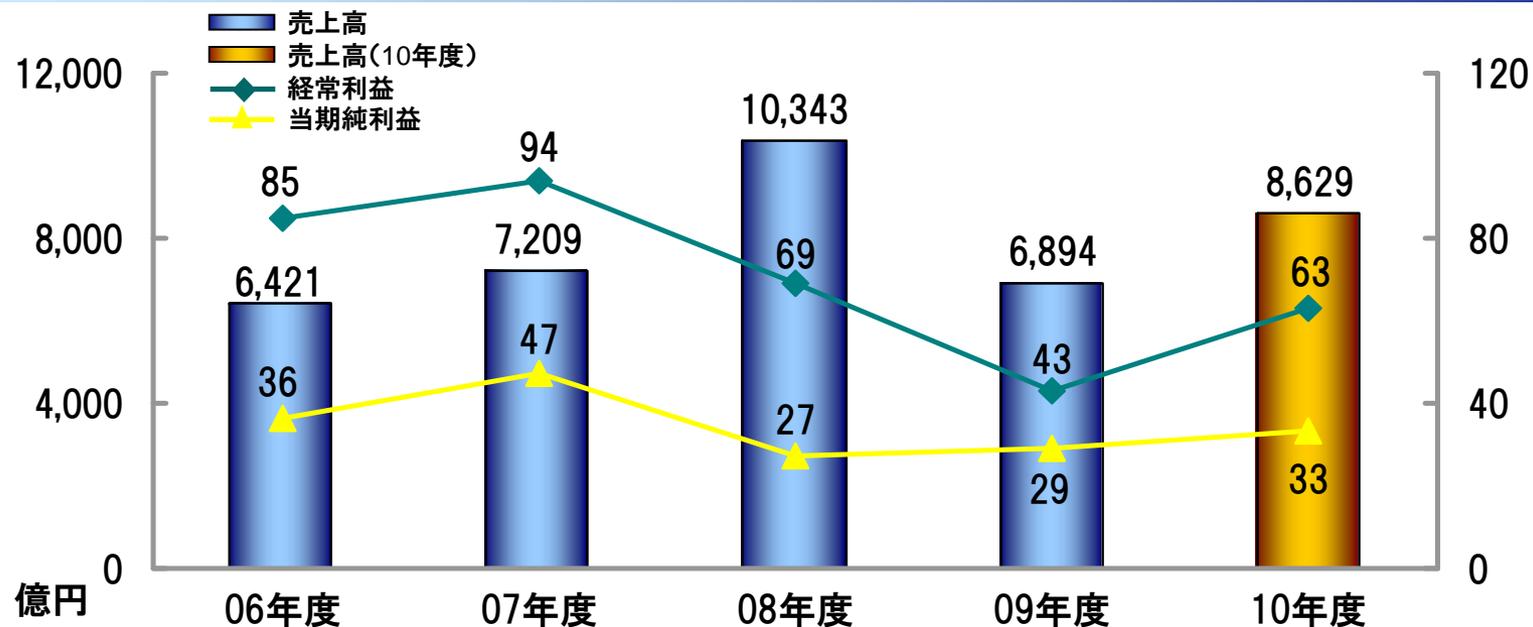
09年度 減損損失 △9 他

10年度 退職給付制度終了損 △7、
投資有価証券評価損 △2 他

④法人税等

09年度 子会社解散に伴う法人税減(+10)

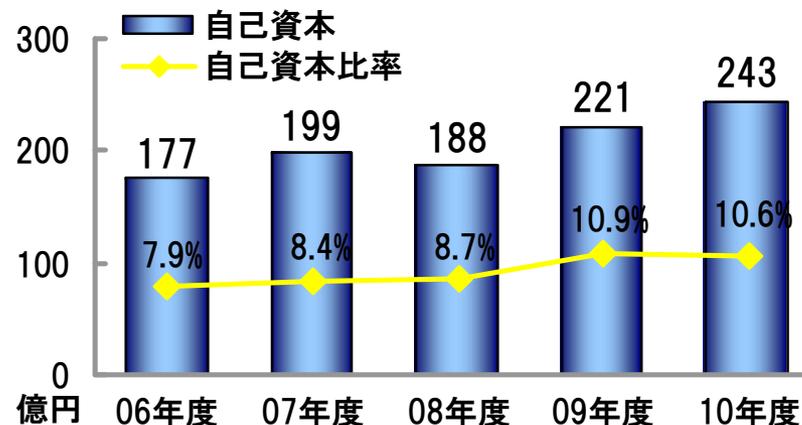
連結売上高と利益推移



連結貸借対照表

(単位:億円)

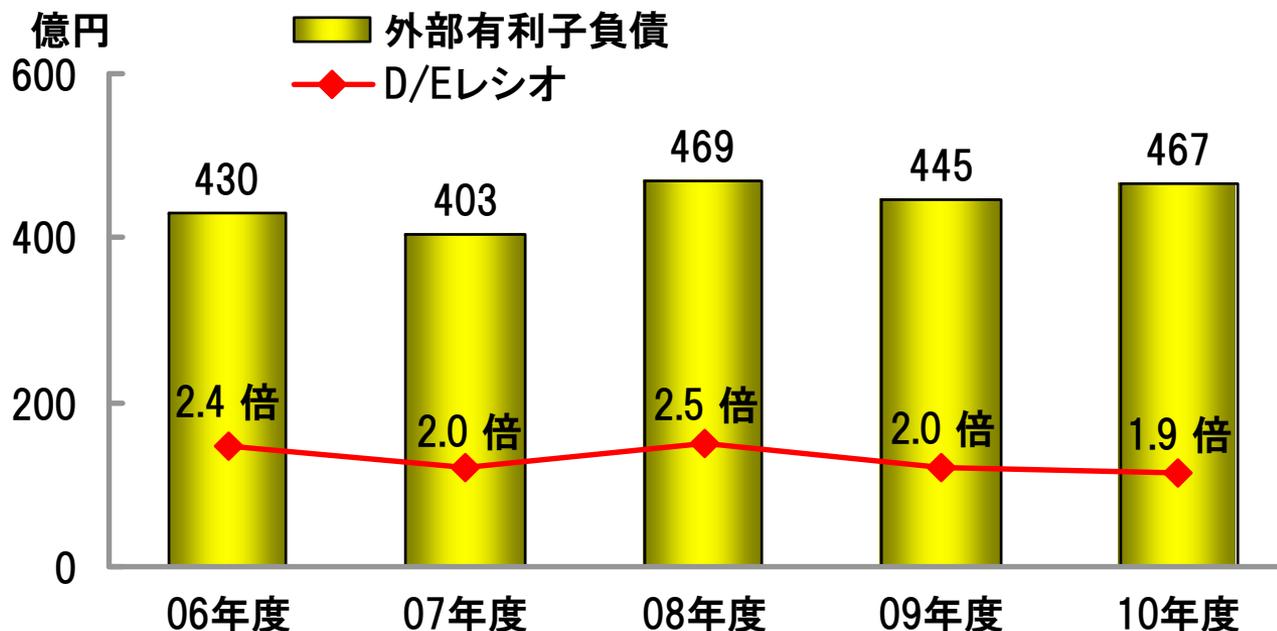
	09年度	10年度	増減額	増減の概要
流動資産	1,783	2,033	250	売上高増加に伴う売上債権、たな卸資産の増 +232 他
固定資産	251	258	7	
〔有形・無形固定資産	45	44	△1	
投資その他の資産	206	214	8	
資産合計	2,034	2,291	258	
流動負債	1,606	1,867	261	仕入高増加に伴う仕入債務増 +135、短期借入金増 +52 他
固定負債	190	163	△27	
負債合計	1,797	2,030	234	
自己資本	221	243	22	利益剰余金 +28、評価・換算差額等 △6
少数株主持分	16	18	2	
純資産	237	261	24	
外部有利子負債	445	467	22	
自己資本比率	10.9 %	10.6 %	△0.3 %	
D/Eレシオ	2.0 倍	1.9 倍	△0.1 倍	
1株当たり純資産	249.2 円	274.3 円		



連結キャッシュフロー

(単位:億円)

	09年度	10年度	増減額
営業活動によるCF	+73	△42	△115
投資活動によるCF	+10	△10	△20
フリーキャッシュフロー	+83	△52	△135
財務活動によるCF	△27	+20	+46
総合キャッシュフロー	+56	△32	△88



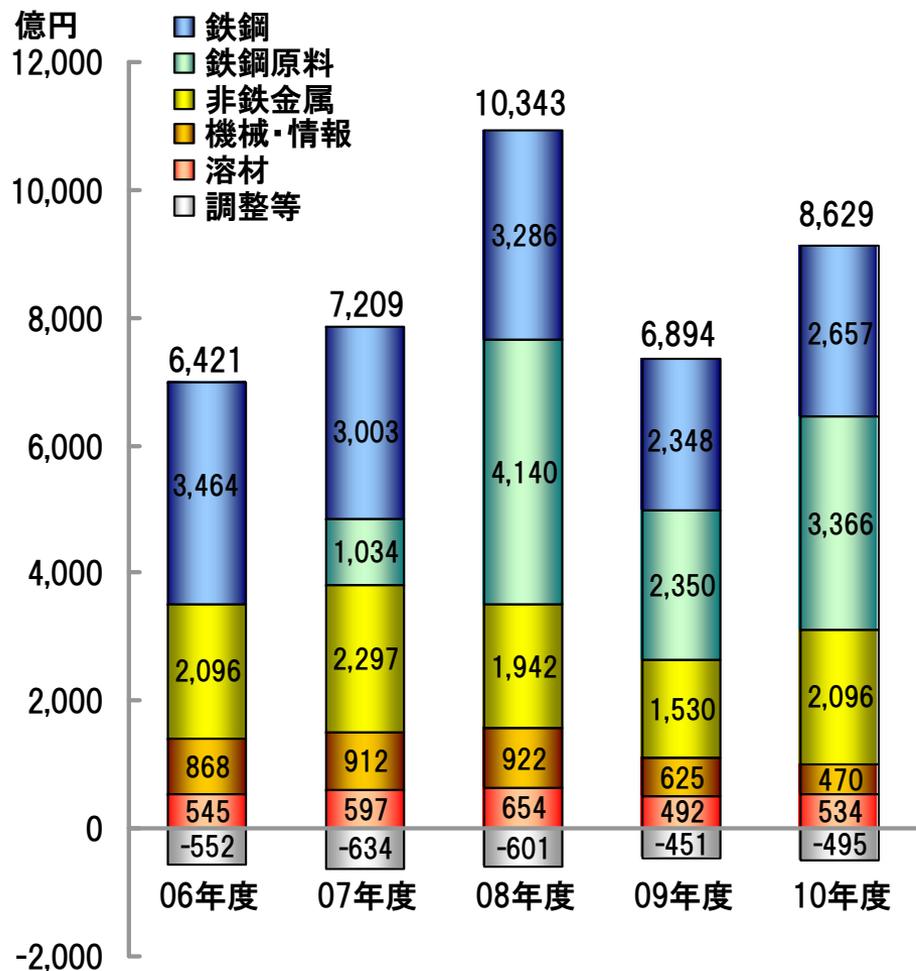
連結セグメント別業績

(単位:億円)

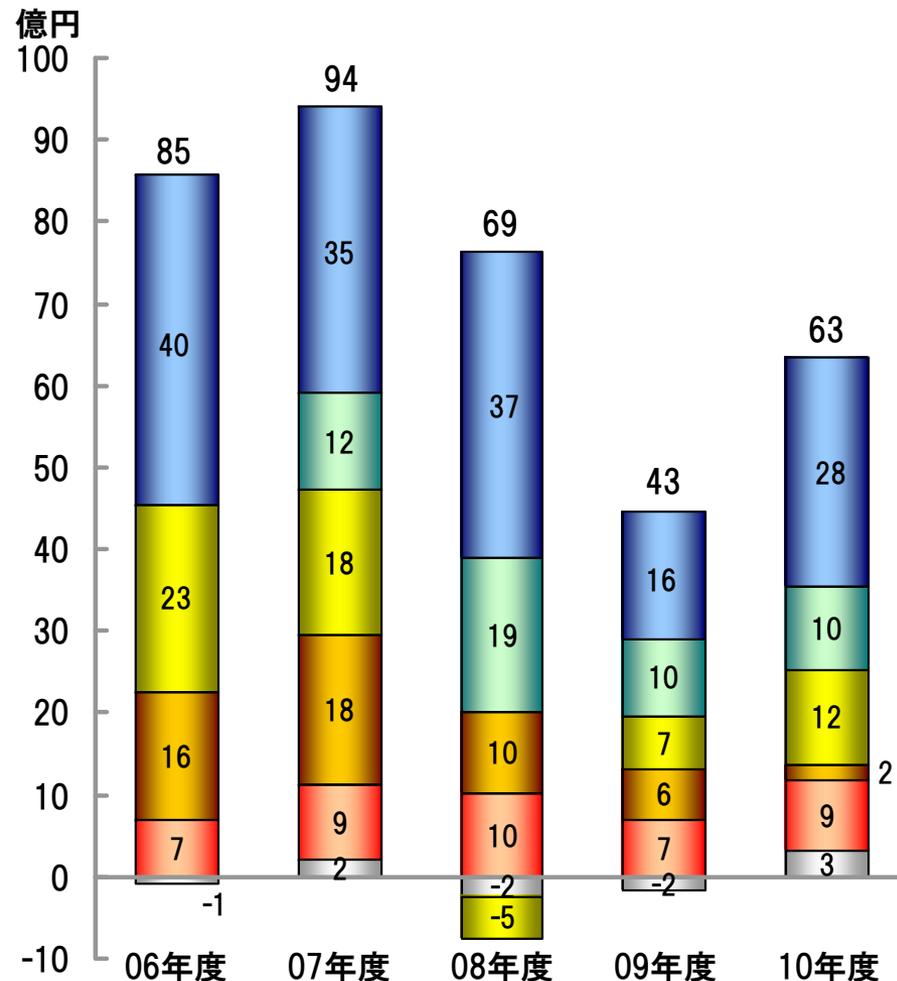
		09年度	10年度	増減額	増減率	売上高の状況
鉄鋼	売上高	2,348	2,657	309	13.2%	<ul style="list-style-type: none"> ●線材 : 自動車業界向けが増加し、価格も上昇 ●鋼板 : 中国向け輸出を中心に増加 ●棒鋼、チタン・ステンレスも増加 ◆10年度取扱量(単体) 205万トﾝ (09年度比 +14.0万トﾝ 内、国内+8.8万トﾝ、貿易+5.2万トﾝ)
	セグメント利益	16	28	13	80.6%	
鉄鋼原料	売上高	2,350	3,366	1,016	43.2%	<ul style="list-style-type: none"> ●神戸製鋼所向け輸入鉄鋼原料 : 粗鋼増産、主原料の価格上昇により増加 ●冷鉄源 : 需要増、価格上昇により鉄スクラップの取扱い増加 ●合金鉄・チタン原料 : 需要回復により取扱い増加
	セグメント利益	10	10	1	6.6%	
非鉄金属	売上高	1,530	2,096	567	37.1%	<ul style="list-style-type: none"> ●銅板条 : 自動車、半導体業界向け需要増により取扱い増加 ●アルミ製品 : エアコン向けアルミ板条、液晶製造装置向け等の加工品が増加 ●非鉄原料 : 銅・アルミ地金は需要増により取扱い増加
	セグメント利益	7	12	5	77.0%	
機械・情報	売上高	625	470	△155	△24.8%	<ul style="list-style-type: none"> ●機械製品 : 産業用クラッチ、モータは好調であったが、製鉄所向け、海外産業機械プラント向けの機器は依然低調で取扱い減少 ●情報産業関連 : タッチパネル、スマートフォンの需要増により、電子材料の取扱い増加
	セグメント利益	6	2	△4	△69.8%	
溶材	売上高	492	534	42	8.5%	<ul style="list-style-type: none"> ●溶接材料 : 国内の自動車業界向けは堅調 建設機械、造船、建設鉄骨業界、海外プラント向けは増加 化工機業界向けは減少 ●生産材料 : 国内需要、海外工場向け共に増加
	セグメント利益	7	9	2	25.5%	
調整等	売上高	△451	△495	△43	△9.6%	
	セグメント利益	△2	3	5	275.1%	
連結	売上高	6,894	8,629	1,735	25.2%	
	経常利益	43	63	20	47.6%	

連結セグメント別業績推移

売上高



経常(セグメント)利益



【ご参考】長期経営ビジョン(2010年5月24日発表)

- 10年後のありたい姿をイメージし、5年先のマイルストーンのために長期経営課題を抽出し、課題に対する戦略を織り込んだ長期ビジョンを策定した。

- ①ドバイ事務所開設 : 10年7月
- ②神商精密器材(蘇州)有限公司設立 : 10年12月
- ③KOBELCO TRADING INDIA設立 : 11年3月
- ◎ベトナム、インドネシアの現地法人設立申請中

ビジョン

KOBELCO
(神戸製鋼グループ)
の中核となる
グローバル
商社を目指す

全体戦略

グローバル ビジネスの加速

- 海外グローバル拠点の拡充
- グローバル拠点を活かし原料・素材・機械の供給、製品の複合的販売を拡大
- 海外取引比率50%

- 事業運営型ビジネス拡大
- 提案型ビジネスの強化
- 神戸製鋼グループの中核商社
- 成長分野の取組み

商社機能の強化

- 人材の確保と育成
- 財務体質の強化
- 経営システムの充実

経営基盤の充実

KOBELCO

神戸製鋼グループ

(注)2010年度より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」が適用され、セグメント別売上高を連結消去前数値に、セグメント別利益を営業利益から経常利益に変更しております。(過年度業績、10年度業績)
なお、過年度業績のこれらの数値は参考数値であり、監査法人の監査を受けておりません。